

政府統計の総合窓口(e-Stat)

政府統計の総合窓口(e-Stat)は、各府省が公表する統計データの取得、地図上に表示する機能等を備えた政府統計のポータルサイトです。



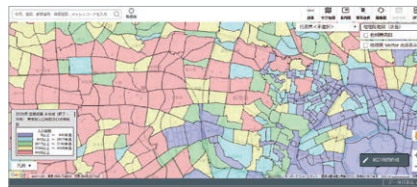
A 統計データを探す

目的とする統計データを探し、表やグラフで見たり、ダウンロードすることができます。



B 統計データを活用する

統計データをより便利に使えるよう、グラフや地図での可視化、地域の比較に特化した機能を使うことができます。



C 統計データの高度利用等

統計マイクロデータの利用、API等の開発者向け機能の紹介、調査で使用した調査票のサンプルなどを見ることができます。



1 統計ダッシュボード

統計ダッシュボードは、主な統計データをグラフや時系列などに加工して一覧表示し、視覚的にわかりやすく提供するWebサイトです。

- 公的統計が見える化、簡単な操作で利用可能
- 地域別や時系列での比較可能
- 利用者のニーズに対応



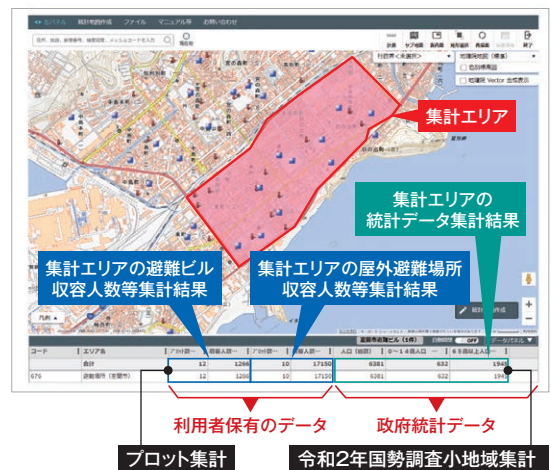
2 地図で見る統計 (jSTAT MAP)

詳細は次のページでご紹介します

地図で見る統計(jSTAT MAP)は、統計データを地図上で色分けして表示するなど、可視化することができるWebサイトです。主に以下の機能を提供しており、統計地図の作成、防災、施設整備、商圈分析等の地域分析に利用可能です。

また、他の地理情報システムで利用することができる境界データ等をダウンロードすることもできます。

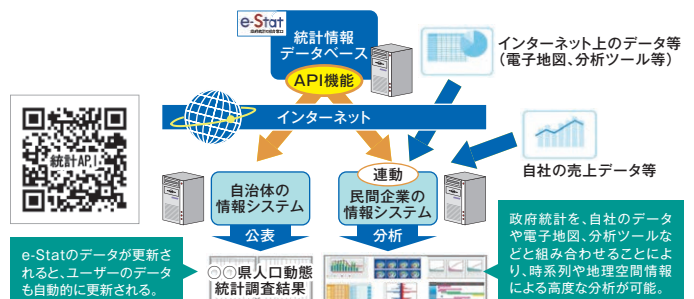
- プロット作成機能
- エリア作成機能
- 統計グラフ作成機能
- レポート作成機能



3 API* 機能

政府統計の総合窓口(e-Stat)のAPI機能を利用することで、e-Statのデータ更新に合わせたデータの自動取得やe-Statに収録された統計データと利用者の保有データを組み合わせた分析処理の自動化などが可能になります。

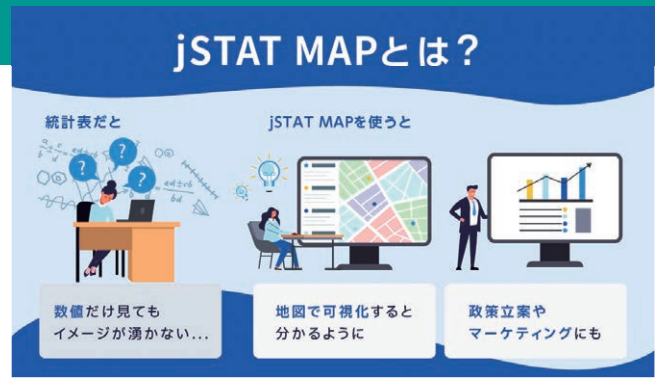
* API(Application Programming Interface) 外部のシステムが自動で統計データの取得ができるようになる機能



PICK UP!

地図で見る統計(jSTAT MAP)

地図で見る統計(jSTAT MAP)は、e-Statで提供している地理情報システムで、統計地図の作成など、利用者のニーズに沿った地域分析が可能となるような様々な機能を提供しています。防災、施設整備、市場分析等、詳細な計画立案に役立つ基本的な分析を簡単に行うことが可能です。



jSTAT MAPを活用するための主な4つの機能

プロット作成 機能

地図上に特定の「地点」を登録する機能

地図上をクリックし、一つずつ直接「地点」を指定することや、住所や緯度経度情報を持ったファイルを取り込むことで、一括で複数の「地点」を登録することができます。



エリア作成 機能

地図上に特定範囲の「エリア」を登録する機能

登録した「地点」を基準とした多角形・円・到達圏(徒歩〇分以内等)を「エリア」として登録することや、道路・河川・鉄道から一定の範囲について「エリア」として登録することなどができます。



統計グラフ作成 機能

地図上に統計データを表示する機能

統計データを地域ごとやメッシュ単位で、地図上に色分けして表示したり、円グラフ・棒グラフなどで表すことができます。登録した「エリア」ごとの統計データを集計することも可能です。



レポート作成 機能

統計データとグラフを使用したレポートを作成する機能

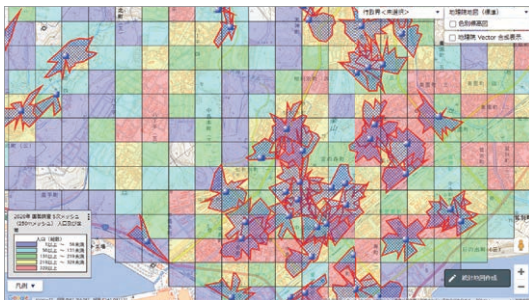
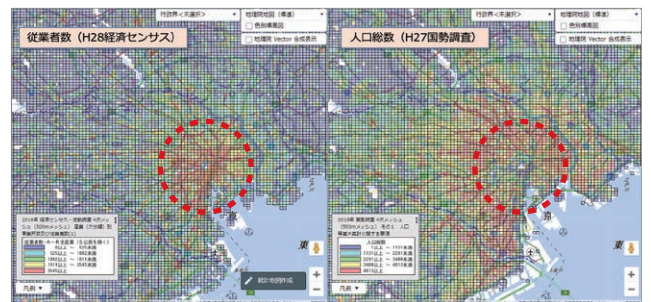
指定した範囲の統計データを集計し、出力することができます。利用者が選択した内容を集計する「シンプルレポート」と主要な統計データを自動集計する「リッチレポート」の2種類があります。



実際の使用例

1

2つの統計調査の結果を並べてメッシュ表示し、同一画面で従業者数と人口を比較できます。



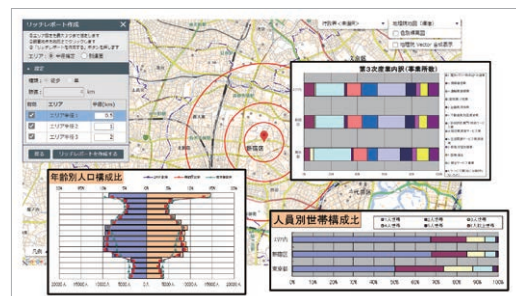
2

避難所から徒歩5分圏内の「エリア」を作成し、メッシュ表示した人口と重ねて比較できます。



3

リッチレポート機能により、指定範囲の人口や産業の情報を一括で自動集計・出力できます。



2 統計リテラシーの普及・啓発

統計局では、データに基づいて課題を解決する“データサイエンス”力の高い人材育成のための取組や統計リテラシーの普及・啓発のため、教育現場等での統計学習に役立つサイトの提供を行っています。

「データサイエンス・オンライン講座」

データサイエンス・オンライン講座
社会人のための
データサイエンス入門

受講料無料

総務省統計局 提供
統計学の基礎やデータの見方等、
データ分析の基本的な知識を学べる講座です。

■自らの学びをサポートするウェブ上で誰でも無料で参加可能なオープンな講義

講座

- 社会人のためのデータサイエンス入門
- 社会人のためのデータサイエンス演習
- 誰でも使える統計オープンデータ

オンライン講座のご案内は、
こちらのページからご覧いただけます。

統計力向上サイト 「データサイエンス・スクール」

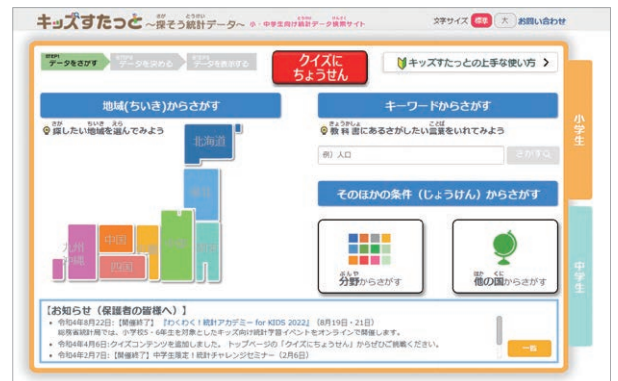
- データの活用方法や統計の知識を“いつでも誰でも気軽に学べる”統計力向上サイト
- 「プレゼングラフ作成のポイント」などのビジネス活用に役立つコンテンツや、「データサイエンス・オンライン講座」の開講状況を掲載



キッズすたっと～探そう統計データ～

小・中学生が、自分の住んでいる地域や、授業に出てくるキーワードなどから統計データを探することができる検索サイト

- 都道府県・市区町村、世界の各国から統計データの検索が可能
- 興味がある分野から統計データの検索が可能
- 興味があるキーワードから関連の深い統計データを表示することが可能



統計学習サイト

「なるほど統計学園」(小学生～高校生向け)

- 統計に親しみを感じながら、統計の基礎知識、集計データの解析方法等、様々な角度から統計を学ぶことができるサイト



統計学習の指導のために(先生向け)

- 統計局が実施している統計調査の結果等を素材として用いた、実践的な授業モデル等を掲載



3 その他の情報発信

統計局ホームページ

統計局が作成する統計調査の結果、統計研究研修所の研究・研修活動など、各種情報をリアルタイムで提供しています。



主な掲載内容

- 統計局が実施する統計調査の結果の概要や統計データ
- 統計トピックス、統計Todayなどの分析レポート
- e-Statや統計ダッシュボード、統計学習サイトなどへのリンク
- 実施中の調査の案内、よくある質問、組織紹介、国際統計活動の紹介 など

統計メールニュース

公表された主な調査結果の要約や統計局からのお知らせなどを配信しています。



統計局公式Facebook

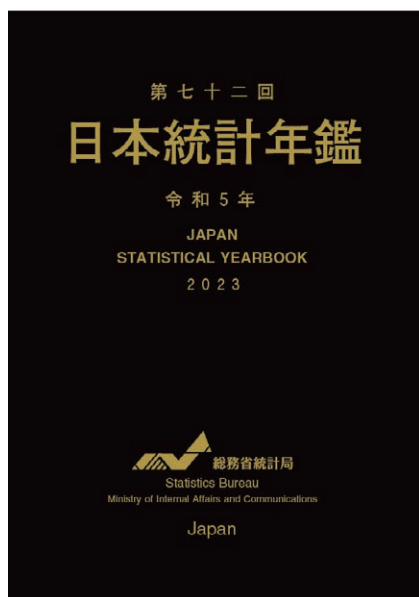
統計に関する話題や動きなど広く情報を提供しています。



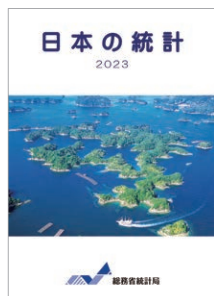
総合統計書

統計局では、統計局を始め各府省や国内外の機関が作成した統計調査の結果や業務報告などに基づく統計データを、国土、人口、経済、社会、文化等の広範な分野にわたって総合的・体系的に整備し、「日本統計年鑑」などの総合統計書として編集、刊行しています。

刊行している全ての総合統計書は、統計局ホームページでも提供しています。



2023
日本統計年鑑
スマートアクセス
全文閲覧できます。



4 統計データの利活用 ~地方公共団体における活用事例~

地方公共団体における統計データ利活用表彰



総務省(統計局)は、客観的な統計データに基づいた確かつ効率的な行政運営を促進する観点から、地方公共団体における統計データの利活用を推進することを目的として、統計データを利活用した優れた取組を進める地方公共団体に対する表彰を実施しています。令和4年度に実施した第7回「地方公共団体における統計データ利活用表彰」の総務大臣賞及び統計局長賞は次のとおりです。

総務大臣賞

神戸市
(兵庫県)

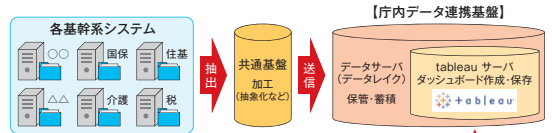
データ分析をDIY ~神戸データラウンジ~

- 蓄積した行政データから、職員向けのダッシュボードをBIツールを使用して作成。ダッシュボードの作成は、内製化により短時間で、柔軟に、コストをかけずに実現
- ダッシュボードの全庁共有で資料作成の時間を短縮。全庁的に各局が所有する行政データ利活用の機運を醸成、各レベルのデータ分析ができる人材の育成

問題及び課題

全庁的に、データに基づく政策形成、行政データの利活用が進んでいない

行政を取り巻く急激な外部環境の変化にスピード感を持って対応していくため、**内部人材による行政データの利活用が必要**



庁内データ連携基盤の構築、ダッシュボードの共有

- 基幹システムから抽出・抽象加工した行政データや国勢調査等の統計データを庁内データ連携基盤において保管・蓄積、BIツール等で分析、可視化し、ダッシュボード等として全庁で共有
 - 職員はポータルサイト「神戸データラウンジ」よりダッシュボードにアクセス
 - ダッシュボードの作成は内製化しており、各局の要望・ニーズ等に基づき追加、各局でもダッシュボードを作成できるように人材育成
- ⇒ダッシュボードの活用で**資料作成時間を短縮**
⇒**行政データの利活用が浸透**、全庁的に**行政データ利活用の機運が高まる**とともに**各レベルのデータ分析ができる人材の育成**



統計局長賞

関市
(岐阜県)

ビッグデータを使用した効果的な自治体データベースの作成と多事業展開

- 健康状態・生活状況が把握できる個人データを積み重ねデータベースを作成し、3つのツール(地域カルテ、地図化(マッピング)、個人シート)を作成
- ➡ **多事業への展開**

従来

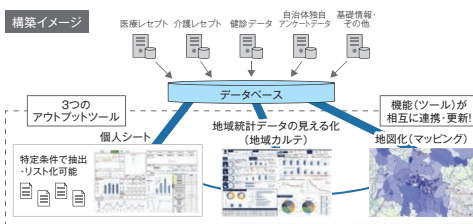
・行政事業全般で、申請ありきの「待ち」の事業展開
⇒適切な対象に適切な支援をできているか不明

今後求められる姿

・申請に加えて、「声なき住民」を探し出してアプローチする。
⇒データを分析・活用して「効率的」「効果的」に行政施策を展開、**適切な支援**を提供

データベースをアウトプットする3ツールの作成

- 地域カルテ: 15行政区の統計データを集約、見える化したもの
- 地図化(マッピング): 個人データ統計、地域・社会資源の分布を地図化
- 個人シート: データを個人単位で見やすい形で構築、条件抽出



※医療関係データは厚生労働省ガイドラインに沿った目的の範囲内で利用。また、アンケートデータは市の個人情報保護条例により、本人に同意を得て利用。なお、全ての個人情報は担当課以外、閲覧・利用出来ない対応とし、分析に利用する個人情報は個人が特定できないよう匿名加工している。

<ツールの利用・組み合わせによる様々な事業への展開>

まちづくり まちづくり・コミュニティづくりの基礎資料	生涯学習スポーツ文化推進 イベント等参加促進の効率化・イベント企画立案資料	保健・福祉 ハイリスク者の特定
高齢者支援 高齢者の居場所づくりのサポート	防災 優先される避難行動要支援者のピックアップ	行政評価 安定したエビデンスによる小地域単位から可能な事業評価

- ◎「分析した」だけで終わらせない**事業・実務への活用**
- ◎全庁的な活用による**EBPMの推進・支援**
- ◎継続的なデータソースとして**整備**

Data StaRt(データ・スタート) ~地方公共団体のためのデータ利活用支援サイト~

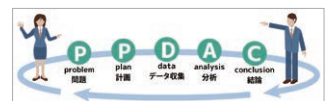
総務省(統計局)では、地方公共団体のためのデータ利活用支援サイト「Data StaRt(データ・スタート)」を運用し、地方公共団体のデータ利活用の取組を情報面から支援しています。



■先進事例

地方公共団体ならではの参考になる事例紹介!

地方公共団体における優れた取組のきっかけや流れを分かりやすく紹介



■EBPM活用塾

地方公共団体のデータ利活用やEBPMを以下のコーナーで応援!

- ・レクチャー編(有識者による動画解説)
- ・ゼミナール編(データ利活用の進め方及び演習)
- ・キーワード編(知っておきたい基本用語を解説)

■利活用研究・相談・ツール

相談アドバイザーや便利ツールもチェック!

- ・研究事例(研究報告や人材育成に寄与する情報を掲載)
- ・利活用相談(データ利活用に関する相談窓口の紹介)
- ・利活用ツール(データ利活用に役立つツール等の紹介)